



七尾のでっかい祭りを体感しよう！
10月14日～11月26日
和倉温泉お祭り会館

地域の若衆と一緒に奉燈を担いだり、太鼓打ちに挑戦したりと、祭り文化を体感してもらいました。

七尾が誇る 四大祭りを体感



水墨画作品展～われら等伯の末裔なり～
10月18日～11月1日
矢田郷地区コミュニティセンター

障害福祉サービス事業所利用者の皆さんに長谷川等伯の水墨画に挑戦してもらい、作品展を開催しました。

障害がある人の 芸術活動を応援



10月22日 川柳の祭典に出演「三引の獅子舞」

文化は、芸術的なものに限らず、その地で育まれてきた祭りや風習、食などさまざまなものに彩りを与えてくれます。いしかわ百万石文化祭を通じて、七尾が持つ文化や歴史の価値を再認識し、七尾の文化のこれからを考えるきっかけになったのではないのでしょうか。

文化の「これから」を考える機会に



10月21日 「等伯-反骨の画聖-」公演記念茶会



10月27日～30日 花嫁のれんものがたり展



10月22日 川柳の祭典に出演「七尾まだら」

問 スポーツ・文化課 国民文化祭推進室 ☎53-1125

2024年、石川県で「東アジア文化都市」開催！ 七尾市が主会場に決定！

「東アジア文化都市」とは？

日本、中国、韓国の3カ国で選ばれた都市が、1年間を通じてさまざまな文化芸術イベントや文化交流を実施し、相互の理解を深めます。

【開催都市】

日本：石川県 だいらん いほう きめ 中国：大連市・瀋阳市 韓国：金海市

「アニメ・マンガ」、「音楽」、「美術」、「食文化」の4つの柱を軸に、県内各地で1年を通して、魅力的な文化芸術事業を展開します。お楽しみに。

問 スポーツ・文化課 東アジア文化都市推進室 ☎53-8437



詳細はこちら

いしかわ百万石文化祭2023 ダイジェスト 七尾の文化をこれからも

いしかわ百万石文化祭2023(第38回国民文化祭、第23回全国障害者芸術・文化祭)が、10月14日から11月26日までの44日間、県内全ての市町を会場に開催されました。市では七尾の文化、歴史の魅力を生かした事業を催し、市民をはじめ全国から訪れた皆さんが思い思いの文化にどっぷりつかりました。31年ぶりの文化の祭典に沸いた様子を振り返ります。



いしかわ百万石文化祭2023 閉会式 11月26日(石川県立音楽堂コンサートホール)

いしかわ百万石文化祭 2023 閉幕

県内全市町で44日間にわたって151の事業を展開し、文化の奥深さを伝えました。閉会式では振り返り映像や、文化の発展を願う演奏、踊りが披露され、次期開催地である岐阜県へ大会旗が引き継がれました。



京都大学 山村亜希教授 特別講演会 11月26日(寄合い処みそぎ)



歴史を学び伝える NHKの番組「プラタモリ」で案内役を務めた、京都大学の山村亜希教授が、城下町から港町へ発展した七尾の歴史を解説しました。七尾は、前田家がつくった金沢や富山、高岡などの城下町とは違い、港を取り込む例外的なつくりだったと指摘することが、城がなくなつた後も、経済都市として発展することにつながつたと説き、参加した市民は熱心に耳を傾けていました。

歴史を学び伝える



無名塾+市民合同公演「等伯-反骨の画聖-」
10月20日～11月5日(能登演劇堂)

画聖「長谷川等伯」の波乱に満ちた生涯を、仲代達矢さん演出で、無名塾と市民キャストが全15公演を熱演。能登演劇堂でしか味わえない舞台で、市内外から訪れた6447人を魅了しました。

市民キャスト堂々の熱演



ななお「俳句の祭典」
10月15日(七尾市文化ホール)



鵬学園高等学校の調理科生徒が作ったお菓子を振る舞いました！

俳句や川柳の愛好者が集い全国大会を開催。俳句の祭典では、市内を巡り七尾の情景を詠みました。会場内には、七尾市PRブースを設け、来場者に七尾の文化を発信しました。

全国の愛好者が七尾を詠む